

# 演習のページ

この演習のページは、LD、ADHD、高機能自閉症など、通常の学級にいて担任の先生方が困難を感じる例をもとに、支援の手立てを考えていくワークとして設定しました。

実際には、クラスのなかには様々な課題をもつ子どもたちがいます。演習として、典型的なタイプについてのページを、12例載せています。記入していないページには各児童生徒に即した課題で考えてみてください。担任だけでなく、校内の特別支援教育コーディネーターを中心とする校内委員会などでも、実際の支援の在り方を考えていく際に活用してみましよう。

- ( 1 ) 話が聞けない子ども
- ( 2 ) 自分の思いをうまく話せない子ども
- ( 3 ) 文章を読むことが苦手な子ども
- ( 4 ) 文字を書くことが苦手な子ども
- ( 5 ) 算数が苦手な子ども
- ( 6 ) 考えをまとめることが苦手な子ども
- ( 7 ) 気が散りやすい子ども
- ( 8 ) 落ち着きがない子ども
- ( 9 ) 衝動的な言動が目立つ子ども
- ( 10 ) 友だちづきあいが苦手な子ども
- ( 11 ) コミュニケーションに偏りのある子ども
- ( 12 ) こだわりが強い子ども
- ( 13 ) その他